



日本歯科色彩学会
<http://www.jacd-dc.jp>

日本歯科色彩学会 ニュースレター

NO.61

日本歯科色彩学会事務局 朝日大学歯学部
 口腔機能修復学講座 歯科保存学分野 歯冠修復学 内
 〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

発行人／堀田正人 TEL・FAX／058-329-1442 発行日／平成30年3月20日

会員のメールアドレスを学会事務局宛へお知らせ下さい

第26回歯科色彩学会・学術大会 大会長挨拶

大会長 平山聡司
 (日本大学松戸歯学部保存修復学講座)

このたび、柏の葉カンファレンスセンターにて第26回日本歯科色彩学会総会・学術大会を開催させて頂くことになりました。この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。例年の事とは言え酷暑の中での開催となりますが、さわやかで有意義な大会となりますよう講座員一同で真心のこもった準備・対応を心掛けながら準備を進めております。

日本歯科色彩学会における研究テーマは、歯科の色彩に関する基礎的研究を基に臨床研究分野まで幅広く多岐に渡ります。昨年の第25回学術大会におけるポスター発表7演題の研究内容は、基礎分野3題、臨床分野2題、教育分野2題となっており、まさに歯科の色彩における材料や技術の開発さらに色彩教育の啓蒙など魅力的な学術発表の場となっています。また本学会は、歯科医師、歯科技工士および歯科衛生士など歯科医療従事者、研究者や教育者が一堂に集い、情報交換出来る学術団体でもあります。

現在の歯科治療では、患者の審美治療に対する要求は高く、硬組織欠損や審美不良をただ単に「治す」だけの治療から機能的で審美的な回復無くして患者の満足は得られません。つまり歯科治療における

審美とは、現在の状況をありのままに再現するのではなく、現状よりもよりいっそう綺麗で、より豊かな形態や色調の回復を図る必要があると考えます。

そこで本大会を通じて、ご参加頂く皆様が歯科の色彩に関する認識と知識を深化させ、それを皆様のフィールドで応用することによって、歯科治療の喜びを患者が享受できればとの思いから大会テーマを「色で変える 色で魅せる 歯科色彩のワンダーランド」といたしました。

本大会は、前回大会までとは開催形式を異にしています。1日目(7月21日、土曜日)午後から理事・評議員会、会員懇親会を開催し、2日目(7月22日、日曜日)午前中に総会、ポスター発表、特別講演に続きランチョンセミナーを行い、午後から講習会を開催いたします。これは講習会に多くの会員が参加して頂きたいとの配慮からでございます。

特別講演では、日本の審美歯科治療のトップランナーである北原信也先生(TEAM 東京 ノブレストラティブ デンタルオフィス)に講演を依頼いたしました。「審美修復治療における色彩の調和を考える」というとても魅力的なテーマを頂き、この講演を通じて北原先生の歯科色彩ワンダーランドを堪

能して頂ければと思っています。

昼食時間には、初の試みとしてランチオンセミナーを開催いたします。演題は「TRIOS 3 を用いたデジタルデンティストリー」です。シェード測定可能な口腔内スキャナーTRIOS 3 を用いた臨床症例とご経験について本学会副会長中澤 章先生にご講演頂きます。

講習会必須コースは、「光源が見え方に与える影響」をテーマに谷口淳二先生（東芝マテリアル株式会社）に、応用コースは、衛藤 光先生（聖路加国際病院）が「皮膚科領域における最近の話題」をテーマにご講演頂きます。

会場となるつくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅周辺には、東京大学柏キャンパス、千葉大学環境フィールドセンター、国立がん研究センター東病

院など国や県の機関・施設が集積する郊外型研究地域です。また、駅に隣接して大型ショッピングモールやタワーマンションが広々とした区画に立地し、柏イコール田舎？のイメージを払拭するに余りある未来型都市でもあります。どうぞご安心してお越し下さい。

本大会が、会員相互の学術交流・啓発の場となり、今後の歯科色彩学会の発展に寄与できるよう大会を運営して参ります。なお、参加登録、演題・抄録申し込みの詳細は下記の大会ホームページをご覧ください。会員、非会員に限らず多くの皆様のご参加を心からお待ちしています。

大会ホームページ

<https://jacd26th.wixsite.com/jacd26th>

第9回 SCAD 2017 年次大会 Report

SCAD Asia/Pacific Regional Councilor 細矢由美子

9th Annual Conference of the Society for Color and Appearance in Dentistry (SCAD)
October 12-14, 2017, Duke Hotel, NewportBeach, CA, USA

学会概要 SCAD Mission and Goals:

The Society for Color and Appearance in Dentistry (SCAD) was founded in 2008 as a consortium of dental professionals and other experts interested in this area of aesthetic dentistry specifically related to scientific investigation and application for color and appearance in dentistry.

The SCAD goals are as follows:

- To serve as a uniting force in the profession by promoting and fostering greater awareness for color and appearance;
- To advance multidisciplinary collaboration and discovery among industrial and institutional researchers, clinicians, laboratory technicians

and others with an interest in color and appearance in dentistry;

- To create and implement educational and training programs on color and appearance for dental professionals and students;
- To promote dental health for the general public through the advanced art and science of color and appearance in dentistry.

学会長 :

現在のSCAD会長は、Dr. Newton Fahl Jr.ですが、2017年のSCAD総会で、次期会長に歯科技工士の Aki Yoshida 氏が選出されました。

学会雑誌: Journal of Esthetic and Restorative Dentistry (JERD) :

Journal of Esthetic and Restorative Dentistry (JERD), the longest standing peer-reviewed journal devoted solely to advancing the knowledge and practice of esthetic dentistry, is the home since 2014.

招待講演者による Oral Presentation: 17題

本学会では、歯科医師と歯科技工士のコラボ講演が毎回複数含まれ、歯科技工士の発表も多い。

2017年の講演で個人的に興味を持った発表は、

Predicting Aesthetic Performance of Composite Resins from Laboratory Data (Christopher Orr, BSC, BDS);

Increase Dental Happiness More Patients Better Shades & Improved Aesthetics (Vanik Kaufmann-Jinoian, MDT);

Celamic Implant Abutments-Esthetic Benefit or Clinical Risk? (Anja Zembic, Dr. Med. Dent, PHD);

Color Appearance in Dentistry and its Measurement (Stephen Westland, BSC, PHD);

eLABor_aid® - Capture, Calibrate & Create! (Sasha Hein, MDT);

Nature, Light and Design for Ceramic Communication (Peter Pizz, CDT, MDT);

Poster Session and SCAD VITA Research

Award: 2017年度は該当者無し。

poster発表は、15題で、日本からの発表は皆無であった。

Dental Technician Awards: Aki Yoshida 氏により2014年に設立された。

北米在住の日本人の受賞が多い。台湾や韓国からの応募はあるが、日本からの応募は皆無である。

• **Larsen-Chu Award:** Open to dental technicians who have less than 10 years in practice.

2017年のwinnerは、MS. Mi Jiong, 韓国。<2016年は、Mr. Winnie Tsai, 台湾>

• **Virtuoso Award:** Open to dental technicians who have 10+ years in practice.

2017年のwinnerは、カリフォルニア在住の Mr. Nobuyuki Kasahara (second placeも、カリフォルニア在住の Mr. Yuichi Komaki。<2016年は、カリフォルニア 在住の Mr. Hiroki Tada>

New SCAD Color Matching Curriculum II (CMC II):

学会に先立って行なわれるこのコースの受講は、予約が必要である。2017年度のコースは、非常に充実しており、大会の invited speakers による Oral presentationsよりも個人的には有意義に感じた。

A new Color Matching Curriculum II, a CE program for dental professionals and dental students, in conjunction with the SCAD 2017 Annual Conference. Presenters: Stephen J. Chu, Juliana da Costa, Newton Fahl, Federico Ferraris, Adam J. Mieleszko, Rade D. Paravina and Aki Yoshida. (J.C.以外のpresentationは非常に優れた内容であった。)

This state-of-the-art combined didactic/hands-on CE course is designed to enhance the clinical outcomes, and it is in compliance with our mission to create and implement educational and training programs on color and appearance.

2018年SCAD大会案内 :

SCAD 2018, October 18-20, Hotel Duke, NewportBeach, CA,

詳細は、www.scadent.org に掲載されています。質問は、info@scadent.org あてに英文で。



Welcome Reception:
次期会長の吉田明彦氏と筆者



President Dinner :
Nobuyuki Kasahara氏、筆者、Yuichi Komaki氏、
山本英夫ボストン大学臨床教授

学会事務局よりお知らせ

庶務担当 村瀬由起

平成 29 年度より事務局を引き継ぎました。不慣れなため、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、歯科色彩学の発展のために微力ながら頑張っていく所存でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年よりニュースレターの電子化の導入が始まりました。事務局では今後も皆様のメールアドレスの登録をお待ちいたしております。

(朝日大学口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学)

役員名簿 (敬称略、50 音順)

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日まで

会長(1)

堀田正人

副会長(3)

阪 秀樹、新海航一、中澤 章

監事(2)

片山 直、大金 誠

常任理事(16)

市村 葉、勝海一郎、金子 潤、木暮ミカ、

齊藤 誠、末瀬一彦、高橋英和、東光照夫、
永井茂之、中山友克、平山聡司、細矢由美子、
宮崎 隆、宮崎真至、向山賢一郎、元呑昭夫

理事(33)

岩崎 覚、大西孝宣、岩崎嘉代、小澤有美、
鬼島成和、久保茂正、河野善治、澤田智史、
澤田智慈、鈴木伸宏、高橋洋子、高宮紳一郎、
田中 誠、玉岡慶鐘、永澤 栄、中城基雄、

西村耕三、橋口英生、坂 清子、星野睦代、
松浦智二、村井宏隆、桃井保子、森 純信、
山鹿洋一、山口秀紀、山口龍司、山崎信夫、
遊亀裕一、横瀬敏志、吉田周平、葭田秀夫、
和田弘毅

評議員(19)

天谷哲也、有川裕之、五十嵐 洋、小川恵治、
小竹宏朋、佐藤郁夫、白石 充、進藤聖士、
関根哲子、中浦清人、野島 洋、東 竜太郎、
三次義和、三好博文、棕梨兼彰、柳川直子、
吉野 諭、吉村浩一、玄 太裕

名誉会長(1)

久光 久

名誉会員(12)

天笠光雄、天野義和、生田博康、加藤喜郎、
桑田正博、高 承志、河野 篤、腰原 好、
下河辺宏功、花田晃治、松尾 通、神津 瑛

幹事(1)

日下部修介

事務局(1)

村瀬由起

_____ : 新任(敬称略)

担当・委員会委員

2018年4月1日～2019年3月31日まで

1.総務担当

日下部修介

2.庶務担当

村瀬由起

3.財務担当

中澤 章、勝海一郎

4.監事

片山 直、大金 誠

5.編集委員会

委員長：東光照夫

委 員：齊藤 誠、新海航一、細矢由美子、
元吞昭夫、金子 潤

6.ニュースレター編集委員会

委員長：金子 潤

委 員：元吞昭夫、齊藤 誠、中山友克、
小澤有美

7.ホームページ委員会

委員長：木暮ミカ

委 員：片山 直、末瀬一彦、永井茂之、
向山賢一郎、元吞昭夫

8.講習会委員会

委員長：細矢由美子

委 員：片山 直、新海航一、堀田正人、
宮崎真至

9.見学会委員会

委員長：中澤 章

委 員：木暮ミカ、永井茂之、平山聡司

10.優秀論文選考(表彰)委員会

委員長：平山聡司

委 員：阪 秀樹、新海航一、高橋英和、
東光照夫、永井茂之、細矢由美子、
元吞昭夫

11.認定士委員会

委員長：阪 秀樹

委 員：片山 直、中山友克、宮崎 隆、
元吞昭夫

12.会則検討委員会

委員長：齊藤 誠

委 員：勝海一郎、木暮ミカ、平山聡司、
末瀬一彦

13.渉外委員会

委員長：新海航一

委 員：元吞昭夫、永井茂之

_____ : 新任(敬称略)

年会費納入のお願い

年度初めに機関誌と一緒に年会費納入のお知らせを同封させていただきました。未納の会員の皆様は、下記の郵便局口座に必要事項を明記の上お振込み下さい。よろしくお願いいたします。

振込先 郵便振替口座 00850-6-184321

口座名「日本歯科色彩学会」

住所等の変更がありましたら必ず明記をお願いいたします。

日本歯科色彩学会 事務局

〒501-0296

岐阜県瑞穂市穂積 1851-1

朝日大学歯学部口腔機能修復学講座

歯科保存学分野歯冠修復学

村瀬由起

murase@dent.asahi-u.ac.jp

Tel 058-329-1442 Fax 058-329-1442

【編集後記】

歯科の色彩ニュースレター61号をお届けします。

2月の見学会に参加して、ストローマンの徹底した品質管理とこだわりを目の当たりにし、今後の世界の流れを予感し震撼していると、世の中は平昌の冬季オリンピック一色となっていました。日本は金4・銀5・銅4の計13個のメダルを獲得し、冬季オリンピック過去最多となりました。特に怪我明けの羽生結弦選手はフィギュア史上66年ぶり連覇ということで、そのオーラを見せつけ、国民栄誉賞が内定されたようです。努力によりメダルを獲得した選手も、残念ながら実力を本番で発揮できなかった選手も、それぞれに多くのドラマがあり、日本中を感動の渦に巻き込みました。その中で、OP終盤に銅メダルを獲得したカーリング女子日本代表LS北見(ロコ・ソラーレ)に多くの注目が集まり、“もぐもぐタイム”や彼女たちが競技中に発する“そだね〜”が集中・緊張の中で観客をほっこりとした気持ちにさせ、非常に話題となりました。早くも2018年の流行語大賞とも噂される“そだね〜”。CXの北海道東部32自治体での聞き取り調査では、“そだね

〜”は、彼女たちが拠点とする北見市を中心とした、美幌町から網走市から南下して釧路市に至る道東部の15自治体近辺でよく使われている方言で、標準語でいうところの“そだね”の意味と思われま。相手の言うことを“聞いているよ”という合図とも解釈されています。イントネーションは若年層と50代以降の年配者では多少異なるようで、若年層が“そだね”(↑→→)となるのに対し、年配者では(↓↑→)となるようで、さらに熟年男性では“そだなあ”、老年層では“そだげえ”と変化するそうです。オホーツク沿岸の港町の漁師の奥さん方の話し言葉(浜言葉)から広まったという説もあり、男性よりの女性の方が使う場面が多いとか。フランクな関係の人と普段の会話で使う言葉であり、同意や許可の意味に、相づちを打つように使用するのだそうで、ほとんどの人が“方言”とは思っていないのだそうです。“そだね〜”を使う地域以外では“そだね〜”なのですが、境界で混在している地域もあり、“そだね〜”ということもあるそうです。多少意味合いに違いがあるようで、“そだね〜”が100%肯定であり即座に発声

するのに対し、“そうだねえ～”は『そういうことか?』の意味も含まれ 50～70%同意ということらしいです。「歯科色彩学会行こうよ。」「そだね～。」「演題だそうね。」「そだね～。」「投稿しようね。」「そだね～。」・・・となって欲しいものであります。

さて、堀田会長のもと2期目がスタートしました

日本歯科色彩学会ですが、学会事務局の朝日大学 玄 太裕先生が大学を離れられるということで、お世話になりました。お疲れ様でした。後任の村瀬由起先生、よろしくお願いします。我々も一丸となって邁進してまいりたいと思います。

(齊藤 誠)



日本歯科色彩学会 ニュースレター編集委員会 元呑昭夫、齊藤 誠、中山友克、金子 潤